

大分県漁業協同組合 県南地区漁業運営委員長会

～令和6年5月14日(火)訪問～ 【佐伯市】



佐伯市には、リアス海岸の複雑な地形と森や川がもたらす栄養塩により、多くの魚介類を育む豊かな海があります。この環境により多種多様な漁業が発展し、特にブリ類、ヒラメを中心とした養殖業は県生産量の約7割を占めるなど、本県水産業の重要な拠点となっています。それらを束ねる大分県漁業協同組合県南地区漁業運営委員長会は、大分県漁業協同組合に所属する佐伯市内8支店で構成されています。

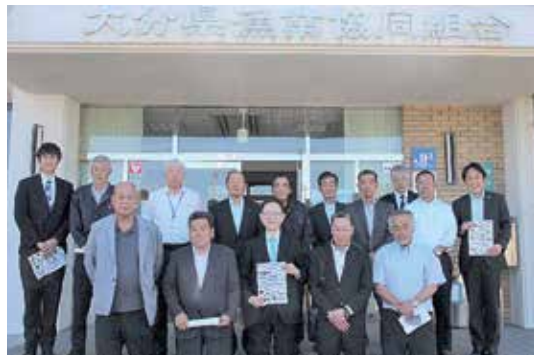
懇談では、近年の地球温暖化等による環境変動によって漁獲量の減少や魚種・漁獲時期が変化している状況や、世界情勢の影響による燃料価格の上昇や養殖飼料価格の高騰により経営に大きな打撃を受けている現状を伺いました。

海面漁業の対策としては、漁業者による資源管理や適地放流などの稚魚放流事業等を実施され、養殖業では、水質改善事業や避難漁場等の整備などに取り組まれています。また、令和6年夏には養殖ブリの需要拡大へ向け切り身などにも対応できる加工場が完成することも伺いました。

さらに課題として、藻場の整備や県独自の水産支援等について、ご意見、ご要望をいただきました。

本県漁業の現況や課題について改めて認識し、国や市とも連携して、引き続き研究や対策に取り組んでいきたいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名: 海域戦略魚種増殖モデル構築事業

事業概要: 水産資源の効果的な回復のため、広域で取り組む新たな増殖モデルを構築
 予算額: 3,793万円

☆事業名: 資源造成型栽培漁業推進事業

事業概要: 水産資源早期回復のため、漁獲魚の体長制限強化など、漁業者が取り組む資源管理の自主規制のレベルに応じて、種苗放流を段階的に上乘せ支援
 予算額: 1億5,730万円 7,823万円

☆事業名: 環境変化対応型養殖推進事業

事業概要: 環境変化に対応した持続可能な養殖業への転換を図るため、スマート技術を活用した長期沈下状態での養殖手法の実証に取り組む。
 予算額: 2,800万円

☆事業名: 【特】養殖魚生産力強化事業

事業概要: 養殖魚の生産体制の強化を図るため、産学官連携による新たな飼料の導入実証に取り組む。
 予算額: 1,778万円

☆事業名: 海づくり大会を契機とした水産物消費拡大事業

事業概要: 海づくり大会を契機とした県産水産物の消費拡大を図るため、学校給食での県産水産物の利用促進による魚食普及や消費拡大キャンペーンを実施
 予算額: 2,280万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」